

高崎市吉井町黒熊浅間神社

当浅間神社は、高崎市吉井町黒熊にあり上信越自動車道のすぐ南で藤岡G Cに接して位置しています（図1のB）。当神社の入り口には2基の石鳥居があり、手前が江戸時代、奥が明治時代のものになります（図2）。鳥居をくぐり長い階段を上ると拝殿が見えてきます（図3）。

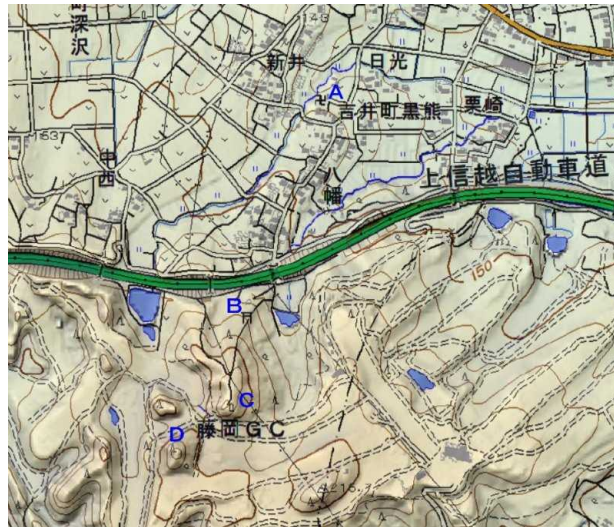


図1 地図



図2 鳥居



図3 黒熊浅間神社

当神社の説明碑によれば「当社の創建は明らかではない。明治の末期黒熊小串地区内の数ある小社を、合併合祀して、現在地の大字黒熊八七七番地に、大正十五年四月四日新築遷座した。農耕や生活を支配する水と山の神の浅間信仰は十六世紀大永年間と伝えられているが、確かな記録は十八世紀に元文年間の黒熊延命寺縁起文にある」とのことです。

『中世吉井の城館跡』（1991年 吉井町教育委員会）によれば、黒熊中城が当浅間神社の北方約 500m にあり、当社はこの黒熊中城の第1砦としての機能を有しており、当社から南方150mの浅間山頂（図4）が第2砦で、浅間山頂のすぐ南西にある奥浅間山（図5）が第3砦となりこの一連の砦が黒熊中城の南方の物見台あるいはのろし台としての役割を担っていたようです。奥浅間山頂には石祠があり「奥浅間様として氏子の皆様にこよ

なく親しまれ信仰された」とのことですが、この奥浅間様を囲うようにゴルフ場が建設されたため平成七年に石祠は奥浅間山から黒熊浅間神社に移転されました（図6）。



図4 浅間山頂



図5 奥浅間



図6 奥浅間石祠

黒熊中城に関しては、『中世吉井の城館跡』によれば「本丸跡は延命寺になっているが、堀跡、土居、曲輪跡が残存している。茂原政長（享禄年間 1530～天文20年 1551）が関東管領上杉憲政に仕え黒熊中城を創築したものと思われる」とあります。当書に記されている図面を図7に示します。これら史跡の位置を図1に示していますが、Aが黒熊中城のあった個所で、Bが黒熊浅間神社（第1砦）、Cが浅間山頂（第2砦）、Dが奥浅間（第3砦）になります。

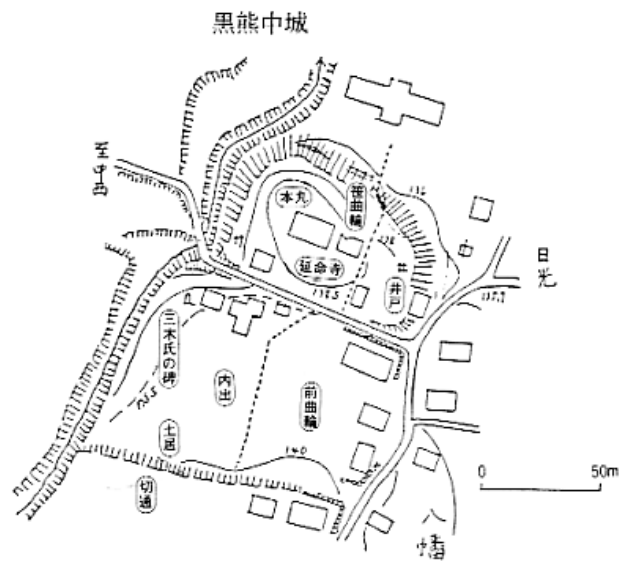


図7 黒熊中城平面図

以上

追記：本稿をまとめるに当たりウェブ上での『史跡看板散歩-98
黒熊の浅間神社と入野碑』を参考にさせていただきました。
厚く御礼申し上げます。